

佐伯利彦議員



- (議案質疑)
1 考古歴史館管理運営事業について
(一般質問)
1 猿被害について

モンキードッグや捕獲おりを導入する考えは？

問

近年、ニホンザルによる農作物被害が多発しているが、対策として、モンキードッグを導入する考えはないのか。

また、早急に実施可能な対策として、ニホンザル用の大型捕獲おりを導入する考えはないのか。

答

モンキードッグの導入により、群れで出没していたニホンザルが激減し、追い払いを繰り返すことで、農作物被害がほとんどなくな

った事例があることは承知している。

しかし、モンキードッグの導入には、適性のある犬を選定する必要があること、県内には訓練施設がないこと、犬の訓練に一定の費用と時間がかかることなど、実施する上での課題が多いと認識している。

また、ニホンザル対策は、追い払いだけではなく、電気柵などによる防除も併せて行うことで、対策の効果が継続するものと考えている。

これらのことから、現行の本市の鳥獣被害防止計画ではモンキードッグの導入は規定していないが、今後は、先行事例の情報収集を行いながら、



山のふもとに設置した大型捕獲箱

地域からの要望があれば、実施可能な対策について関係者と協議を行い、当該計画の変更や各種補助事業の活用も含め、支援の検討を進めていきたい。

大型捕獲おりの導入に当たっては、国や県の補助事業の活用が考えられるが、おりの設置者や設置場所、管理方法、費用負担など、検討課題も多いため、今後、関係者と協議を重ね、導入について検討を進めていきたい。

井上浩二議員



(議案質疑)

- 1 西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例について
(一般質問)
1 独居高齢者等へのごみ出し支援制度について

独居高齢者などへのごみ出し支援は？

問

ごみ出しが困難な独居高齢者などへの支援について、令和5年3月定例会での答弁では、庁内関係部局と連携を図り、高齢者の安心・安全な生活に資するサービスについて調査・研究をしていきたいとのことであった。

ごみ出し支援制度を検討する中で想定される対象者やごみの収集方法、安否確認、実施時期はどのように考えているのか。

答

本市において想定されるごみ出し支援の対象者については、県内他市の実施事例を参考に、単身世帯や65歳以上の年齢、要介護状態などの要件を関係部署と協議の上、財政的負担も考慮し、基準を設定したい。

また、収集方法については、週1回の回収の事例が多いことから、燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみを同時に回収する方法が妥当であると考えている。排出場所についても、マンションなど2階以上



高齢者などへのごみ出し支援のイメージ

の建物や、適正な排出場所がない場合の対応も検討しておく必要があると考えている。

ごみ出し支援時の安否確認については、高齢者の見守り、孤独死防止の一助につながることから、福祉部局とも連携を図り、要支援者の事前把握や、緊急連絡先の報告の義務化など、効率的な運用を検討した上で制度化することが必要と考えている。

高齢者のごみの戸別収集は、県内11市中9市で実施しており、また、環境省も導入を推奨しているため、実施については、福祉部局との調整の下、体制の構築や制度設計、経費の算定など新制度に必要な諸条件の検証を行い、適切に判断していきたい。